

「佐々木さんを支援する会」への呼びかけ

キリストは、私たちの平和であり、二つのものを一つにし、ご自分の肉によって敵意という隔ての壁を取り壊し、……二つのものを一人の新しい人に造り変えて、平和をもたらしてくださいました。
エフェソの信徒への手紙 2:14-15(協会共同訳)



ルワンダの大虐殺(ジェノサイド)と内戦終結後、政府による「和解」が進められる一方、「被害者」「加害者」と割り切れない複雑さの中で、本当の意味でのルワンダの人びと同士との和解と癒しはますます重い課題です。光と闇の交錯するルワンダで、佐々木さんは2000年の初めての訪問以降、関わりを続け、2005年にご家族で本格的に移住。人びとに寄り添い、和解と共生のための働きをなしてきました。現地キリスト教 NGO と協力した「癒しと和解のセミナー」「償いの家造りプロジェクト」は、被害者・加害者の協働する養豚組合として、また、女性たち(虐殺生存被害者、加害者家族)が協働するウムチョ・ニャンザ(ニャンザの光、販売組合)として実を結び、活動が続けられています。(写真、「癒しと和解のセミナー」)

また、佐々木さんは、非暴力による社会変革を構想できる人たちを育て、民族や国籍の違いを超えて協働する関係をつくるために、2011年にPIASS(プロテスタント人文社会科学大学)の開発学部内に「平和・紛争研究学科」を創設し、教員としての働きを始めました。現在、同学科は優れた卒業生を輩出するとともに、多様な学生たちがともに平和研究を行う場としてアフリカ随一に成長しています。

「佐々木さんを支援する会」は、佐々木さんのルワンダでの活動開始以来、継続して支援をし、その働きを通して癒しと和解の出来事という奇跡を見せていただきました。現在も、佐々木さんはルワンダの人たちから深い信頼を受けながら、平和構築のビジョンをかたく保ち、人びとをつなぎつつ、腰を据えた働きを広げています。この佐々木さんの働きが今後とも継続して行われ、また共に癒しと和解の実現にあずかるために、ぜひとも皆さまがたの「佐々木さんを支援する会」へのご入会、そしてご支援を心よりお願い申し上げます。

「佐々木さんを支援する会」世話人会代表

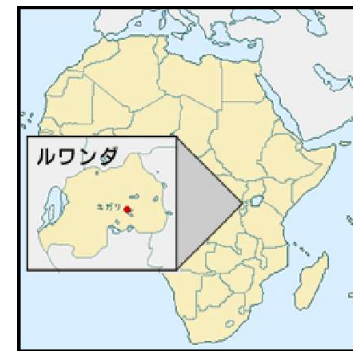
中條 智子(ちゅうじょう ともこ)

(日本バプテスト連盟 長住バプテスト教会牧師)



中央アフリカ東部の内陸国 ルワンダってどんな国？

- ◆人口1220万人、国土面積は2.63万km²(四国の約1.4倍)の内陸国 ◆労働人口の8割が農林漁業に従事 ◆公用語: ニャルワンダ語、英語、フランス語、スワヒリ語
- ◆宗教: キリスト教(カトリック、プロテスタント)、イスラム教
- ◆1994年、旧フツ独裁政権がフツ系住民を動員してツチ系住民の大虐殺を遂行。80~100万人が犠牲になった。
- ◆その後1999年まで、ツチ系武装勢力出身者を中核とする新政権と旧政府の残党勢力との間で内戦が続いた。
- ◆内戦終結後、積極的な経済開発政策により高度の経済成長を続けているが、経済構造は依然として脆弱であり、歳入の約5割を外国からの援助資金に頼っている。



ご支援をよろしくお願いいたします！

ルワンダで平和と和解の働きに仕え初めて15年が過ぎました。次代の平和構築を担うピースビルダー育成の取り組みも10年目に入ろうとしています。ルワンダ人6名でスタートしたPIASSの平和・紛争研究学科では、現在、ルワンダのみならず、ルワンダと緊張関係にあるコンゴ民主共和国、ブルンジ、ウガンダを含むアフリカ10カ国、そして日本から集まってきた約70名の若者たちが共に学び、友情を育み、平和を創るための協働作業に着手しています。私はこれからも非暴力による社会変革と平和構築のために働く次世代のリーダーを育成し、彼らのネットワーク構築のために働いていきます。また、彼らを巻き込みながら、ルワンダで和解と共生の歩み続ける人々への支援



を続けていきます。未曾有の大虐殺から25年、ルワンダでは長期の懲役刑を終えて地域社会に戻ってくる虐殺加害者が今後増大することが見込まれており、人々の和解と共生への歩みはこれから正念場を迎えます。今後とも皆さまの温かいご支援をよろしくお願いいたします。

佐々木和之

●佐々木和之さんの支援について●

私たち、「支援する会」は佐々木さんとご一家の生活費、活動費の一部、そして福利厚生費をもって支援したいと考えています。佐々木さんの現地活動費、交通費、保険費につきましては、日本バプテスト連盟の「国際ミッションボランティア」制度から支給されることになっています。

「支援する会」の目標額は、年間**1000万円**です。(支援活動費含む)

以下のいずれかによってご支援ください。

定額支援 一口 月1,000円(年12,000円)何口でも結構ですが、一期3年をお願いします。

自由支援 随時ご支援ください。



●郵便振替口座番号 00250-0-112907
佐々木さんを支援する会

自動引き落としもご利用いただけます。事務局までお申し出ください。

私たちは、佐々木さんの活動支援を呼びかけます！

- 石原明子(熊本大学准教授)
 - 榎本 讓(仙台南バプテスト教会牧師)
 - 小河義伸(日本バプテスト仙台基督教会牧師)
 - 奥田知志(東八幡キリスト教会牧師
・NPO法人抱樸理事長)
 - 奥村敏夫(釧路キリスト教会牧師)
 - 金子 敬(大牟田フレンドシップ教会牧師)
 - 神田英輔(「声なき者の友」の輪代表)
 - 高 美穂(コベントリー大学上級講師)
 - 小峯茂嗣(立教大学異文化コミュニケーション学部助教)
 - 島田勝彦(日本キリスト教団中野教会牧師)
 - 壽賀一仁(一般社団法人あいあいネット専務理事)
 - 鈴木伶子(キリスト者平和ネット)
 - 関田寛雄(日本基督教団神奈川教区巡回教師)
- 平良仁志(堺バプテスト教会牧師)
 - 田口昭典(金沢バプテスト教会牧師)
 - 寺園喜基(元西南学院院長)
 - 西原廉太(立教大学教授)
 - 林 達夫(アフリカ日本協議会特別顧問)
 - 平塚敬一(前立教女学院理事長)
 - 藤田英彦(バプテスト連盟東八幡教会協働牧師)
 - 益 巖(日本バプテスト同盟大師新生教会牧師)
 - 松隈 潤(東京外国語大学教授)
 - 松本昌子(前・関東学院院長)
 - 麦野 賦(伊集院バプテスト教会協力牧師)
 - 村上千代(栗ヶ沢バプテスト教会牧師)
 - 山本俊正(関西学院大学教授)
 - 吉高 叶(市川八幡キリスト教会牧師)
(敬称略・50音順)

【世話人会】

- 代表・中條智子(日本バプテスト連盟 長住教会牧師)
加藤 誠(日本バプテスト連盟 大井教会牧師)
播磨 聡(日本バプテスト連盟 広島教会牧師)
蛭川明男(日本バプテスト連盟 洋光台教会牧師)
米本裕見子(日本バプテスト女性連合 幹事)

趣意書

佐々木さんを支援する会

～ルワンダでの平和と和解の働きを支援する～



写真上 ウムチョ・ニャンザの女性たち、佐々木さん、日本人留学生。虐殺犠牲者追悼式典にて



写真中 平和構築トレーニングを受講したウムチョ・ニャンザの女性たちの子どもたち。

写真下 ジェノサイド記念式典でパフォーマンスをおこなう PIASS ピースクラブのメンバー



●「佐々木さんを支援する会」事務局●

〒235-0041 横浜市磯子区栗木1-22-3 洋光台キリスト教会内(蛭川明男)
電話045-774-9861/FAX 045-774-9859
郵便振替口座 00250-0-112907 佐々木さんを支援する会
事務局長 播磨 聡(広島キリスト教会/082-293-8683)